

面的な対策の例（千葉県鎌ヶ谷市）

- 住民等が参加するワークショップを開催し、ヒヤリハット情報等を活用し対策内容を決定
- 歩道整備、狭さく、交差点ハンプの設置等を実施し、対策前に比べ事故件数が約75%減少

< 対策箇所選定 >

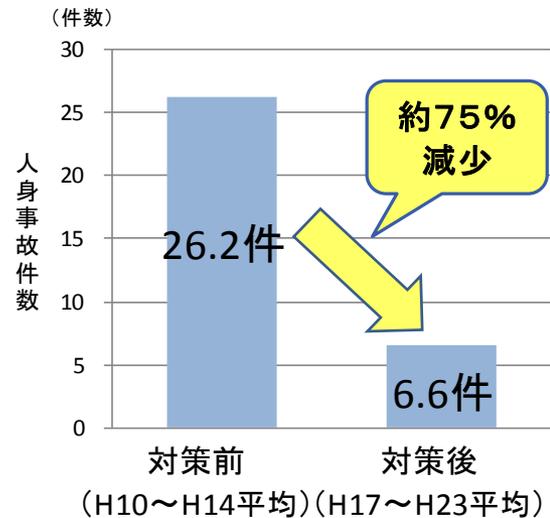


・交通事故多発箇所とヒヤリハット箇所が重複する箇所を優先的に対策

< 対策内容 >



< 対策効果 >



※外周道路は含まない

< 対策検討状況 >

【ワークショップ】



歩道の整備



狭さく



交差点ハンプ



交差点カラー舗装



路面表示（注意喚起）